

報告第1号

火打山麓振興株式会社の経営状況について

火打山麓振興株式会社の第25期事業報告、決算報告及び監査報告並びに第26期事業計画及び収支計画について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により次のとおり報告する。

令和5年2月20日

糸魚川市長 米田 徹



# 第 25 期 事 業 報 告

令和 4年12月11日

## 1 損益の状況

第 25 期の目標利益は 350万円でしたが、損益状況の結果は税引前利益で約 309万5千円となりました。

以下、部門ごとに内容を説明します。

## 2 シェルマン火打スキー場の営業状況

### (1) 降雪と営業の状況

当期は、昨年 1 2 月 1 1 日に株主総会と安全祈願祭を挙行し、1 2 月 1 7 日に営業開始を予定しておりました。幸い 1 5 日から積雪となりましたが、量が十分でないため 1 7 日はプレオープンとしたものの、翌 1 8 日にはまとまった積雪となりグラウンドオープンといたしました。

1 月は 1 2 日に強風により休業したものの、正月三が日と 8 日からの 3 連休、そして土日を中心に来場者が多く、前年を上回る状況でありました。

2 月は積雪が多すぎて、前年より来場者が減少するとともに、2 3 日の天皇誕生日には大雪となり、県道に雪崩の危険性があったため、早朝に終日休業としました。また、翌 2 4 日に山頂の積雪が 6 m 7 0 cm に達し、過去 1 3 年間で新記録となりました。

3 月、4 月はコロナ禍と他のスキー場に雪が残っていたことから、来場者は前年より下回った状況でありました。

5 月は営業日を 8 日まで 3 日間延長し、天候に恵まれたことから、来場者は前年の 1.4 倍となり、収益を伸ばすことができました。

以上のことから、当期のスキー場の収益状況は、前年よりも微増となり、共通経費をゴルフ場と按分した実質的な収支は + 95 万 8 千円となりました。

### (2) 営業方針の取組状況

#### ① 安全の確保

安全確保を最重要課題と捉え、索道重大事故ゼロをスローガンに通年の計画的な点検・整備を進めてきました。また、過去の遭難事故を教訓に、エリア外滑走による遭難事故ゼロを目標に、パトロール隊員の確保育成と来場者への注意喚起放送などに努め、重大事故ゼロでシーズンを終えることができました。

なお、パトロール隊や圧雪車・除雪車のオペレーター等の専門技術を持った人々の確保が厳しくなっており、大きな課題となっております。

#### ② 新型コロナウイルス感染対策の実施

一般財団法人日本鋼索交通協会作成の「索道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」を基に対策を行って参りました。

特にセンターハウス内では、入場者のマスク着用と消毒化、検温を進めるとともに、レストランの座席を半減し、アクリル板を設置するなど密にならないよう努めてきました。

③ 障害者スキーへの取組み

障害者と健常者のスキーを通じた交流を標榜した「アイスティーカップ」は3月26・27日当スキー場で開催され、両日でリフト利用者が300人を超えました。

④ 誘客に向けた営業活動

「パウダースノーのスキー場」としての周知やPRなど誘客に向けて、金沢市から富山方面、上越市附近、そして関西で広く営業活動を行いました。

特に当期は4月に富山県の朝日町から魚津市の教育委員会を訪問し、小中学校のスキー授業の勧誘を行うとともに、市町の体育協会でもPR活動を行って参りました。

⑤ スキースクールの変更

これまでのDSAカンパニーからオーストリアスキー教室に変更し、能生スキークラブのご協力により自主運営がなされ、当スキー場の経費削減に寄与することができました。

### 3 グリーンメッセ能生（ゴルフ場）・大平やすらぎ館（温泉）の営業状況

#### （1）営業の状況

昨年10月と11月は、前年と同様に台風もなく天候に恵まれ好調のうちに11月23日に例年どおりクローズとなりました。

本年は、積雪が多かったことから4月16日にプレオープン、29日にグランドオープンしましたが、4月は晴れの日が多く気温も高かったことから前年の1.5倍の利用者があり、5月も順調でありました。

6月は、前半は雨の日が多く、後半は暑い日が多かったこと、7月は平年より暑い日が多く、後半は雨の日が多かったこと等により、前年より共に大幅なダウンとなりました。

8月は前年とほぼ同様で、9月は前年コロナ禍で14日間休業したのと比較してあまり伸びない結果となりました。

6月からの利用者数減の対策として、9月・10月の2か月間、1ラウンド以上の予約者に対して追加0.5ラウンドを無料とするサービスを実施しましたが、利用者の増につながっていませんでした。

以上のことから、当期ゴルフ場の収益状況は、前期と比較して減少したものの共通経費をスキー場と按分した実質的収支は+213万7千円となりました。

#### （2）営業方針の取組状況

① ゴルフ場としての品質向上

安価で比較的気軽に利用できるゴルフ場として、一定の評価をいただいているところではありますが、施設の管理と従業員の接客応対の向上に努めて参りました。

施設の老朽化に伴う修繕については、レストラン内エアコンの更新やグリーン内散水栓等の修繕工事を実施してきました。

② 新型コロナウイルス感染対策の実施

大平やすらぎ館入口に検温装置と消毒液を設置し、レストランではテーブルのレイアウトを変更するとともに、アクリル板の設置により密にならないように努めました。

③ 4人乗りカートの整備

前々期3台購入し計7台となりましたが、今期は更に3台増強し合計10台となりました。

④ 水道水源の調査

地下水等の活用は現実的ではないようなので、市と協議のうえ、農業水利の利用について検討しているところです。

#### **4 健全な経営の確保**

当期のスキー場は、前年と同様ラニーニャ現象の予報どおり豪雪となり、大変厳しい状況でしたが、実質的な収支は少し改善することができました。

一方ゴルフ場は、前期と同様コロナ禍でありましたが、行動制限が緩和され、他のスポーツやレジャーも可能となるなど唯一性が薄れたことから利用者の減となりました。

しかし、収支は僅かながらプラスとなり、昨年からの厚い内部留保が確保でき、借入金はない状況であります。

今後も健全な経営に努めて参ります。

## 5 会社の株式に関する事項

- (1) 発行済株数 1,000株  
(2) 株主数 60名  
(3) 大株主

株主名	持株数
糸魚川市	500株

## 6 会社の概要に関する事項

- (1) 取締役会及び監査役の氏名等

氏名	地位及び担当	他の法人等の代表状況
織田 義夫	代表取締役社長	元糸魚川市 副市長
井川 賢一	代表取締役	糸魚川市 副市長
中村 康司	取締役	能生運輸 株式会社 代表取締役社長
鈴木 秀城	取締役	株式会社 笠原建設 代表取締役社長
高鳥 健一	取締役	高鳥歯科医院 院長
齋藤 浩	取締役	有限会社 対岳荘 代表取締役社長
大貫 慶一	取締役	能生商工会 会長
渡邊 武	監査役	糸魚川信用組合 営業推進室長
渡邊 辰夫	監査役	元糸魚川市 総務課長

- (2) 取締役及び監査役の報酬等の額

取締役 7名 275万円  
監査役 2名 6万円

- (3) 設備投資の状況

有形固定資産

該当なし

## (4) 財産及び損益の状況の推移

(単位：千円)

区 分	平成30年9月期 第21期	令和元年9月期 第22期	令和2年9月期 第23期	令和3年9月期 第24期	令和4年9月期 第25期
売上高	156,684	169,705	169,917	154,280	160,293
当期純利益	△ 1,036	5,854	17,464	2,431	2,195
一株当たりの 当期純利益	△ 1,036円	5,854円	17,464円	2,431円	2,195円
純資産	46,731	52,585	70,049	72,479	74,674

## (5) 主要な事業の内、事業の内容

事業	主要なサービス・商品
スキー場事業及び関連事業	索道収入・用品貸出・大会
ゴルフ場・浴場事業	ゴルフ場・用品貸出・大会・浴場施設の提供
売店事業	スキー関連用品・ゴルフ関連用品・菓子類
食堂部門	麺類・ご飯類・飲食類

## (6) 主要な営業所

名 称	所 在 地
シャルマン火打スキー場	糸魚川市大字西飛山 1821
大平やすらぎ館／グリーンメッセ能生	糸魚川市大字島道 1302-2

## (7) 従業員の状況

期末従業員数	在籍人数 (人)	平均年齢 (歳)	対前期末増減数
男	14	59.6	1
女	7	60.4	△ 1
合 計	21	58.6	なし





第 2 5 期

# 決 算 報 告 書

令 和 3 年 1 0 月 1 日 から

令 和 4 年 9 月 3 0 日 まで

火 打 山 麓 振 興 株 式 会 社

(法人番号:2110001021783)

# 貸借対照表

商号 火打山麓振興株式会社

代表者 織田 義夫

令和 4年 9月30日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
I 流 動 資 産	( 91,619,018 )	I 流 動 負 債	( 20,030,392 )
現 金 及 預 金	83,688,777	買 掛 金	172,943
棚 卸 資 産	4,044,182	未 払 掛 金	2,653,689
前 払 収 入 費 用	958,070	未 払 法 人 税 等	4,700,748
未 立 仮 替 払 金	758,920	未 払 消 費 税 等	899,929
	2,167,022	未 預 前 受 取 金	1,977,300
	2,047	仮 賞 与 受 引 当 金	96,283
			7,548,000
			224,500
			1,757,000
II 固 定 資 産	( 6,546,176 )	II 固 定 負 債	( 3,460,704 )
有 形 固 定 資 産	( 5,691,014 )	長 期 割 賦 債 金	3,300,000
建 築 物	49,931,746	長 期 未 払 金	160,704
車 両 運 搬 具	10,292,913		
工 具 器 具 及 備 品	2,884,048		
リ ー ス 資 産	148,800		
減 価 償 却 累 計 額	△ 57,566,493		
無 形 固 定 資 産	( 316,667 )	負 債 の 部 合 計	23,491,096
ソ フ ト ウ ェ ア	316,667	( 純 資 産 の 部 )	
		I 株 主 資 本	( 74,674,098 )
		1. 資 本	50,000,000
		2. 資 本 剰 余 金	( 0 )
		3. 利 益 剰 余 金	( 24,674,098 )
		(1) 利 益 準 備 金	100,000
		(2) そ の 他 利 益 剰 余 金	( 24,574,098 )
		繰 越 利 益 剰 余 金	24,574,098
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	( 0 )
III 繰 延 資 産	( 0 )	III 新 株 予 約 権	( 0 )
		純 資 産 の 部 合 計	74,674,098
資 産 の 部 合 計	98,165,194	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	98,165,194

# 損益計算書

令和 3年10月 1日から  
令和 4年 9月30日まで

商号 火打山麓振興株式会社

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売 上 高 入 事 業 収 入 レ ス ト ラ ン 売 上 売 店 売 上 指 定 管 理 料	87,337,099 9,727,525 2,096,440 61,131,823	160,292,887	160,292,887
II 売 上 原 価 期 首 棚 卸 価 レ ス ト ラ ン 仕 入 売 店 仕 入 当 店 期 原 価 合 他 勘 定 振 替 期 末 上 総 卸 利	4,183,087 1,047,097	1,141,744 5,230,184 124,939,393 131,311,321 509 1,020,959	130,289,853 30,003,034
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 失		30,032,556	30,032,556 29,522
IV 営 業 外 収 益 受 取 取 配 収 当 金 入		333 110 1,181,251	1,181,694
V 営 業 外 費 用 失 雑 損 失		35,417	35,417
経 常 利 益			1,116,755
VI 特 別 利 益 コ ロ ナ 補 助 金 ・ 営 業 補 償 金		1,978,100	1,978,100
VII 特 別 損 失		0	0
税 引 前 当 期 純 利 益 法 人 税 及 び 住 民 税 当 期 純 利 益		900,000	3,094,855 900,000 2,194,855

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 3年10月 1日から  
令和 4年 9月30日まで

(単位：円)

科 目	金 額
販売員旅費	89,049
広告宣伝費	2,472,343
大会費	233,702
販売促進費	171,299
販売手数料	778,538
役員報酬	2,810,000
従業員給与	10,073,022
従業員賞与	1,480,570
法定福利費	2,494,222
福利厚生費	1,775,987
減価償却費	651,319
代家賃	49,832
修繕費	608,219
事務用品費	136,853
通信通費	611,056
租税公課	339,212
接待交際費	164,895
保険料	935,550
備品消耗品費	301,445
支払手数料	2,682,664
借手議料	97,382
借リース料	67,010
燃費	420,818
雑費	587,569
合 計	30,032,556

棚卸資産の計算内訳

令和 4年 9月30日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商品	1,020,959
貯蔵品	3,023,223
合 計	4,044,182

原 価 報 告 書

令和 3年10月 1日から  
令和 4年 9月30日まで

(単位：円)

科 目	金 額
I 材 料 費	
当 期 材 料 費	0
II 労 務 費	
賃 金	47,580,525
賞 与	3,897,440
法 定 福 利 費	5,498,891
厚 生 費	2,066,501
当 期 労 務 費	59,043,357
III 経 費	
受 託 業 務 等 外 注 費	10,263,956
外 注 委 託 費	8,303,962
電 力 費	10,246,198
ガ ス 代 費	965,690
減 価 償 却 費	369,246
修 繕 費	6,121,803
租 税 公 課	98,750
賃 借 料	840,265
保 険 料	1,128,020
消 耗 品 費	6,625,011
燃 料 費	15,649,927
通 信 費	347,918
接 待 交 際 費	548,387
レ ン タ ル 手 数 料	2,502,518
雑 費	1,884,385
当 期 経 費	65,896,036
当 期 総 費 用	124,939,393
期 首 仕 掛 品 棚 卸 高	0
合 計	124,939,393
期 末 仕 掛 品 棚 卸 高	0
当 期 原 価	124,939,393

## 株主資本等変動計算書

商号 火打山麓振興株式会社

令和3年10月1日から令和4年9月30日まで

(単位:円)

	株主資本						株主資本合計	評価・ 換算差額等	新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金							自己株式
		資本準備金	その他 資本剰余金	利益準備金	その他 利益剰余金						
当期末残高	50,000,000	0	0	100,000	22,379,243	0	72,479,243	0	72,479,243		
当期末変動額											
当期純利益					2,194,855		2,194,855		2,194,855		
当期変動額合計	0	0	0	0	2,194,855	0	2,194,855	0	2,194,855		
当期末残高	50,000,000	0	0	100,000	24,574,098	0	74,674,098	0	74,674,098		

商号 火打山麓振興株式会社

### ■ その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書

(単位:円)

	その他資本剰余金の内訳			その他利益剰余金の内訳				繰越 利益剰余金	その他 利益剰余金 合計
	資本準備金減少 額	自己株式処分差 益	その他 資本剰余金 合計	別途積立金	その他利益剰余金の内訳				
当期末残高	0	0	0	0				22,379,243	22,379,243
当期末変動額									
当期純利益								2,194,855	2,194,855
当期変動額合計	0	0	0	0				2,194,855	2,194,855
当期末残高	0	0	0	0				24,574,098	24,574,098

## 個別注記表

令和 3年10月 1日から

令和 4年 9月30日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

### II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産

定率法又は旧定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物（附属設備を除く）については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1)賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期負担額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

### III. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数

1,000株

### IV. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、74,674.09円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、2,194.85円であります。

以 上

# 附属明細書

商号 火打山麓振興株式会社

事業年度

(令和03年10月1日から 令和04年9月30日まで)

附属明細書の添付状況				
NO.	附属明細書の種類	添付状況		備考
		添付(○)	省略(✓)	
1	固定資産(投資その他の資産については、長期前払費用に限る。)の取得及び処分並びに減価償却費の明細	○		
2	引当金の明細並びにその計上の理由及び額の算定方法	○		



1. 固定資産(投資その他の資産については、長期前払費用に限る。)の取得及び処分並びに減価償却費の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首取得価額	当期増加額	当期減少額	期末取得価額	当期償却額	減価償却累計額	差引帳簿価額	償却累計率
有形固定資産	建物	48,730,746	1,201,000	0	49,931,746	698,662	44,544,316	5,387,430	89.2%
	車両運搬具	10,292,913	0	0	10,292,913	41,666	10,292,903	10	100.0%
	工具・器具・備品	2,884,048	0	0	2,884,048	18,933	2,729,274	154,774	94.6%
	リース資産	2,834,496	0	0	2,834,496	161,304	2,685,696	148,800	94.8%
		計	64,742,203	1,201,000	0	65,943,203	920,565	60,252,189	5,691,014
無形固定資産	ソフトウェア	416,667	0	0	100,000	316,667			
		計							
投資その他の資産									
	計								

2. 引当金の明細並びにその計上の理由及び額の算定方法

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
貸倒引当金	0	0	0	0
賞与引当金	1,757,000	1,757,000	1,757,000	1,757,000

・引当金の計上理由及び算定の方法は個別注記表に記載しています。

# 監 査 報 告 書

火打山麓振興株式会社

代表取締役社長 織田 義夫 様

私ども、第25期事業年度の計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表）及び事業報告書並びに付属明細書に関し、次のとおり監査を実施した結果、適法かつ正確であることを認めます。

記

監査期間：令和3年10月1日から令和4年9月30日まで

監査内容：第25期事業年度 決算監査

令和4年11月10日

監査役

渡邊 武



監査役

渡邊 辰夫



# 第 26 期 営 業 方 針 （ 案 ）

令和 4 年 1 2 月 1 1 日

## 1 全体の方針

地域のスキー場とゴルフ場を運営する企業として、安全をすべての土台として来場者・利用者の皆様に楽しんでいただけること、また「地域振興」「地域の雇用」の役割を担うことを全社の目標とします。

これらの使命を継続的に果たすには、適正な利益を確保し、安定した企業経営を行うことが必要です。そのためには、社員相互とお客様とのコミュニケーションを高め、目的を共有することに努めて参ります。

当社の営業は、気象等に影響を受けやすい体質ではありますが、更なる需要の拡大に努め、3,500千円の利益を目指します。

## 2 シャルマン火打スキー場の営業方針

### (1) 安全の確保

索道重大事故や遭難事故ゼロを目標に、索道の1年を通じた計画的な点検・整備を進めるとともに、パトロール隊員の確保育成に努めて参ります。

### (2) 新型コロナウイルス感染対策の実施

一般財団法人日本鋼索交通協会作成の「索道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」を基に対策を行って参ります。

当社としましては、施設全体のマスク着用と消毒化を進めるとともに、特にセンターハウス内のレストランでのコロナ対策を重点的に進めて参ります。

### (3) 障害者スキーへの取組について

毎年恒例の「アイスティーカップ」を今シーズンも開催する予定であり、「障害者に優しいスキー場」として取り組んで参ります。

### (4) 誘客に向けた営業活動について

「パウダースノーのスキー場」としての周知やPRなど、誘客に向けた営業活動を鋭意進めて参ります。

特にシーズン後半に来場者が多い、富山県・石川県への営業活動に力を注いで参ります。

### **3 グリーンメッセ・やすらぎ館の営業方針**

#### **(1) ゴルフ場としての品質向上**

お客様に好かれるゴルフ場を目指して、従業員とともに品質向上に努めて参ります。施設整備から20年以上が経過し老朽化が顕著となっているため、糸魚川市と協議して施設の修繕管理を計画的に進めて参ります。

#### **(2) 新型コロナウイルス感染対策の実施**

感染対策に一定の成果は出ているものの、引き続きレストランを中心にコロナ対策を進めて参ります。

#### **(3) 誘客に向けた営業活動**

年々地元の利用率が減少していることから、能生ケーブルテレビ等地元の媒体を通じてPRして参ります。

#### **(4) 4人乗りカートの整備**

利用者の安全対策のうえからも4人乗りカートの整備について引き続き糸魚川市へ要望して参ります。

#### **(5) 水道水源の確保と配管の漏水対策**

水道水源の不具合と配管の老朽化による漏水が喫緊の課題となっているため、糸魚川市とともに調査検討し、一定の方向性を定めたいと考えております。

# 目標変動損益計算書

第26期(令和 4年10月 1日～令和 5年 9月30日)

商号：火打山麓振興株式会社

作成：R 4.11.11(09:53)

(単位：千円)

項目		次期計画 (A)	構成比	当期実績 (B)	構成比	差額 (A-B)	対比 (A/B)	注	備考
売上高	事業収入	1	87,177	54.5	87,337	54.5	-160	99.8	
	レストラン売上高	2	9,710	6.1	9,727	6.1	-17	99.8	
	売店売上高	3	2,093	1.3	2,096	1.3	-3	99.8	
	指定管理料	4	61,020	38.1	61,131	38.1	-111	99.8	
	値引・戻り高(△)	5		0.0		0.0			
	純売上高	6	160,000	100.0	160,292	100.0	-292	99.8	
変動費	期首棚卸高	7	1,021	0.6	1,141	0.7	-120	89.4	
	レストラン仕入高	8	4,221	2.6	4,183	2.6	37	100.9	*
	売店仕入高	9	1,057	0.7	1,047	0.7	9	100.9	*
	レンタル仕入	10		0.0		0.0			
	商品仕入高4	11		0.0		0.0			
	仕入値引(△)	12		0.0		0.0			
		13		0.0		0.0			
		14		0.0		0.0			
	仕入高合計	15	5,278	3.3	5,230	3.3	47	100.9	*
	外注委託費	16	8,160	5.1	8,303	5.2	-143	98.3	
	消耗品費・燃料費	17	22,118	13.8	22,695	14.2	-577	97.5	
		18		0.0		0.0			
	その他変動費	19	12,442	7.8	12,765	8.0	-323	97.5	
	月末棚卸高(△)	20	1,019	0.6	1,020	0.6	-1	99.8	
共通原価配賦	21								
変動費合計	22	48,000	30.0	49,116	30.6	-1,116	97.7		
限界利益	23	112,000	70.0	111,176	69.4	823	100.7		
固定費	給与	24	60,152	37.6	60,463	37.7	-311	99.5	
	賞与	25	5,368	3.4	5,378	3.4	-10	99.8	
	福利厚生費等	26	11,776	7.4	11,835	7.4	-59	99.5	
	人件費計	27	77,296	48.3	77,677	48.5	-381	99.5	
	(労働分配率)	28	69.0%		69.9%		-0.9%		
	販売促進費	29	3,558	2.2	3,655	2.3	-97	97.3	
	事務管理諸費	30	4,051	2.5	4,167	2.6	-116	97.2	
	接待交際費	31	780	0.5	810	0.5	-30	96.2	
	旅費交通費	32	1,015	0.6	1,048	0.7	-33	96.8	
	施設経費	33	16,660	10.4	17,333	10.8	-673	96.1	
	その他固定費	34	2,377	1.5	2,471	1.5	-94	96.2	
	営業外損益	35	-1,146	-0.7	-1,146	-0.7			
	他の固定費計	36	27,295	17.1	28,341	17.7	-1,046	96.3	
	部門固定費計	37	104,591	65.4	106,018	66.1	-1,427	98.7	
部門達成利益	38	7,409	4.6	5,157	3.2	2,251	143.6		
減価償却費	39	960	0.6	1,020	0.6	-60	94.1		
地代家賃	40	955	0.6	957	0.6	-2	99.8		
保険料	41	1,994	1.2	2,063	1.3	-69	96.6		
設備費計	42	3,909	2.4	4,041	2.5	-132	96.7		
部門貢献利益	43	3,500	2.2	1,116	0.7	2,383	313.4		
共通固定費配賦	44								
部門貢献利益(配賦後)	45	3,500	2.2	1,116	0.7	2,383	313.4		
棚卸高増減(△)	46								
固定費合計	47	108,500	67.8	110,059	68.7	-1,559	98.6		
経常利益	48	3,500	2.2	1,116	0.7	2,383	313.4		

(注)純売上高の「対比」を超える科目に\*印を表示しています。